



厳しい暑さが続いていますが、朝夕は少し涼しくなってきました。
夏休み明けの準備に向けて、教育ライブラリーをお役立てください。
教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。
この『教育ライブラリーだより』では、できるだけ新しいものを中心に時折旧刊も交えながら、教育図書や雑誌などの紹介をしたいと思います。
教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「子どもの自尊感情をどう育てるか そばセット (SOBA-SET) で自尊感情を測る」

近藤 卓/著

(ほんの森出版 2022年発行)

自尊感情とは？自己肯定感や自己有効感、自己有用感との違いは？

臨床心理士や高等学校教諭、中・高等学校カウンセラーなど多くの研究や実績を積んできた著者が、これら関連のある概念が混乱しないよう、それぞれの相互関係を明らかにしています。そうすることによって、著者が構築した基本的自尊感情と社会的自尊感情の理論が分かりやすく頭に入ってきます。また、その理論を基に著者が考案した自尊感情を測定する尺度「そばセット」も実用的で、教育現場において活用しやすいものです。

この本の魅力は、自尊感情を測った上で、その自尊感情を高めるために教育現場でできることをしっかりとした理論に基づいた実践として紹介しているところです。自尊感情を高める上での共有体験の意義、共有体験を意図的に積み重ねる映像や物語を使った実践など興味深いものばかりです。教育現場だけでなく、家庭での子育てにおいても、自尊感情を高めるための子どもとの時間の積み重ね方がしっかりと見えてくる、とても参考になる本です。

②「個別最適な学びの足場を組む。」

奈須正裕/著

(教育開発研究所 2022年発行)

「個別最適な学び」という言葉が定着してきましたが、実はいま一つイメージがもてないという方もいるのではないのでしょうか。もともと正解のない学びでもあるので、それは当然かもしれません。この分野に関して多数の著書がある上智大学の奈須教授が、多くの人が疑問に思いつつも今さら聞けない、そんな問いに話し言葉で易しく詳しく答えてくれます。著者によると「個別最適な学び」は最近急に始まったものではなく、世界中でかなり古くから取り組まれてきた教育であり、日本でも1980年代までには十分な量の実践と議論が蓄積されているとのこと。こうした今日ではほぼ評価の確立した実践例を中心に、これまでの日本の教育の歴史、「個別最適な学び」と「協働的な学び」との関係など分かりやすく具体的に語ってくれます。特に「個別最適な学び」の二要素である「指導の個別化」と「学習の個性化」についての説明は、たいへん理解しやすく腑に落ちました。「誰一人取り残さない」教育という言葉も最近よく耳にしますが、逆に特定の分野に特異な才能をもつ子どもの「浮きこぼれ」の問題なども取り上げられ、一斉指導がそれほど効率的でもないことが指摘されます。「資質・能力」やその領域特有の「見方・考え方」なども、子ども自身が自分のやり方に沿って試行錯誤する中で身に付くもの。こうした学びについ

ての著者の話を聞き、多くの実践例を知る中で、それならできるかも、あるいはしてみたいと思わせてくれる本です。

③「アメリカの中学生が学んでいる 14歳からのプログラミング」

ワークマンパブリッシング/著
(ダイヤモンド社 2022年発行)

毎日コンピュータを使っている、コンピュータシステムやプログラミングについては全く知りません。「情報」などという教科がなかった世代の者は、ほとんどそうだと思います。知らなくてもコンピュータは使えますが、知っているほうがもっと視野が広がるのでは、と思いつつも、いきなり専門書を開いたのでは挫折するのは火を見るよりも明らか。そこで登場するのがこの本です。「アメリカの中学生が学んでいる」と謳うだけあって、分厚い本ですがスラスラ読め、コンピュータシステムの基本やプログラミングの考え方がわかり、プログラミングをしてみたいくなります。新しいことにチャレンジしてみたい方はぜひ。楽しい本です。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等 (抜粋)
国語教育 (明治図書)	8月号	<p>【特集】まるごとわかる！説明文・文学の「教材研究」図解</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇図解でできる！国語の教材研究 ◇図解でわかる！説明文の教材研究&授業づくり ◇図解でわかる！文学の教材研究&授業づくり <p>【連載】◇本当は楽しい語彙学習 1日1ページ、辞書を読んで書き込みをする－「紙」辞書を語彙学習の「神」辞書に</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇主体化する国語科授業デザイン 問いを評価する ◇生成AIを活用した教材研究・授業デザイン
社会科教育 (明治図書)	8月号	<p>【特集】今知りたい！政治・経済の仕組みがわかる授業デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇政治・経済の仕組みがわかる！授業デザインのポイント ◇政治・経済の仕組みをわかりやすく伝える授業づくり はじめの一步 ◇政治・経済 私のおすすめ授業ネタ ベスト3 ◇政治・経済をめぐる論点・争点と授業づくり ◇お金の役割を考える！アクティビティ授業 ◇金融と企業の学習を深める！シミュレーション学習 ◇(授業最前線) 政治・経済の仕組みがわかる！授業モデル
新しい算数研究 (東洋館出版社)	8月号	<p>【特集】数学的活動を再考する－数学的な見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学びの視点から ◇論説 ◇実践事例</p> <p>【連載】◇「与えられた問題の解決」からの脱却を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「分かる、できる」を引き出す算数授業を目指して
数学教育 (明治図書)	8月号	<p>【特集】防ぐ、生かすの2視点で考える「つまずき」指導大全</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇つまずきを防ぐための「学び方」のチェックポイント ◇つまずきを生かす授業づくり、学級づくり ◇つまずきタイプ別 <p>特別なニーズがある生徒のための今日からできる支援のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生徒目線で考える 2, 3学期単元につまずきポイントと指導アイデア

<p>理科の教育 (東洋館出版社)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】知りたい！すぐれた理科の実践2024各支部の推薦から</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇見方・考え方を働かせることは、本当に資質・能力を高めるのか ◇小学校理科における3Dプリンターの活用 「動物の骨格博物館」 ◇身近な自然を教材とした「総合的な学習の時間」の実践 他 <p>【連載】◇動物の分類カードを活用した分類の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇教材一直線 いろいろな素材の木炭② ◇斜面及び水平面上の運動で力を表示する iPad アプリ
<p>英語教育 (大修館書店)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集1】児童生徒にすすめたい夏休みの学習法</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇英語学習の常識は変わった!?：身につけたい効果的な英語学習習慣 ◇生成AIを英語学習パートナーにする法：英語力を高める習慣づくり ◇夏休みこそ英語集中！高校生が主体の英語合宿・KITE ◇易しい英語×ニュース素材で 視野を広げる時事英語 ◇夏こそ名作を！英語学習につながる読書 <p>【特集2】五輪イヤーにチャレンジ！英語以外の外国語を愉しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ポーランド語のすすめ ◇韓国語の特徴と学び方 ◇ラテン語のススメ ◇多言語の学びから得られるものとは
<p>道徳教育 (明治図書)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】完全版 主任&推進教師のための校内研究ガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇いつなった？何をした？道徳教育推進教師になったら ◇見通しをもとう！主任&推進教師のための年間ロードマップ ◇解説 道徳教育推進教師の役割と推進体制づくり ◇段階別 マインドセット×タスク×トラブルでわかる 主任&推進教師の仕事術 ◇おススメ！とっておき研究事業&公開授業プラン ◇保存版 公開授業・研究授業を成功させる秘訣10か条 ◇主任&推進教師のための振り返りチェックリスト
<p>授業力&学級経営 力 (明治図書)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】[問い返し]から[ゆさぶり]まで 1号まるごと「発問」を学ぶ</p> <p>選択的発問 思考のズレを生む課題 否定発問 もしも発問 問い返し発問 導入発問 ジレンマ発問 ゆさぶり発問 他</p> <p>【連載】◇授業名人の発問の法則 学習への参加率をあげる発問</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇発達障害のある子のための環境デザイン 状況にそぐわない行動 ◇「学びの多様化学校」と学校づくりのインクルーシブデザイン
<p>生徒指導 (学事出版)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】互いに作用しあう、「授業」と「生徒指導」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学習指導と生徒指導の一体化とは ◇発達支持的生徒指導につながる授業・集団づくりと働きかけ ◇子どもを見ることで、すべてが動き出す ◇ペア学習を通じた「授業における生徒指導」 ◇資質・能力の発達を支える教科指導とは？学び合う集団づくりを通して <p>【巻頭対処】「悩みと向き合う」子どもを支えるために/谷本恵美</p> <p>【連載】◇始めよう！新しい生徒指導 暴力行為の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学校での危機管理 教師の権威とは(2) ◇生徒が主体的に参画する校則改正 生徒が参画するメリット ◇逃げ場のない親子 定食屋での母と子の風景 ◇高校における生徒指導対応回想録 ホームルーム担任における対応④

<p>教職研修 (教育開発研究所)</p> <p>8月号</p>	<p>【巻頭対話】「偽・誤情報時代」を生きるための教育</p> <p>【特集1】お金をかけずに大改革！笑顔が増える、職員室の空間づくり</p> <p>◇予算ほぼゼロの職員室改革 ◇職員室を片づけるコツ</p> <p>◇失敗から学ぶ チームで取り組む職員室改革</p> <p>◇先生である前に人である フィンランドの職員室</p> <p>◇「職員室フリーアドレス」で、多様なコミュニケーションを創出</p> <p>◇東京学芸大学附属世田谷小学校の職員室リニューアル</p> <p>【特集2】校長のしがらみ</p> <p>◇なぜ、戸田市の校長会はアクティブなのか</p> <p>◇学校の取り組みをエンパワメントする教育長の姿勢</p> <p>【連載】◇不登校と多様な進路(2) 5年後、10年後を見据えた情報提供</p>
<p>初等教育資料 (東洋館出版社)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集1】学校段階等間の接続を踏まえた指導</p> <p>【特集2】(国語)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養う「読むこと」の授業改善</p> <p>【教育の扉】限りある命の使い方/村田慎二郎(国境なき医師団)</p> <p>【連載】◇自律した学習者を育てるための低学年からの丁寧な指導</p> <p>◇小学校等における医療的ケアの取組について</p> <p>◇幼児教育(事例)「遊び」と「行事」をつなぐ指導の工夫</p> <p>◇幼保小架け橋期のレインボープロジェクト 静岡県袋井市教育委員会</p>
<p>中等教育資料 (学事出版)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】個に応じた指導の充実②</p> <p><理科、保健体育、外国語、音楽・美術・芸術></p> <p>【連載】◇「学ぶ楽しさを実感できる50分間を共創する」～生徒がワクワクドキドキする授業づくりを目指して 広島県立福山商業高等学校</p> <p>◇産業教育のページ 科目「総合実践」の学習活動の改善・充実に向けて</p>
<p>実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】1冊まるごと特集 学び直しの夏にしよう！</p> <p>◇ひらがな・カタカナを楽しく学ぼう かなカナあそび</p> <p>◇自作マンガ教材を活用した、通信制高校の通級におけるコミュニケーション指導</p> <p>◇基本をしっかり押さえない 自立活動の授業設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の授業設計の考え方 ・姿勢が崩れやすく、自分の気持ちを押し通そうとする小学部児童の指導 ・他者への関心が薄く、活動に集中しにくい小学部児童の指導 ・感情のコントロールや行動の調整が難しい高等部生徒の指導 ・できることと援助が必要なことが判断しにくい中学部生徒の指導
<p>特別支援教育研究 (東洋館出版社)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】一人一人の心が動き、活躍できる「特別活動・学校行事」 ～時代のニーズに合わせた在り方や、効果的な指導・支援を再考する～</p> <p>◇特別支援教育における特別活動の可能性 ◇地域とつながる学校行事に向けて/朝倉由里乃(香川大学教育学部附属特別支援学校)</p> <p>◇特別支援学校における生徒会活動 ◇フレンドリースポーツ大会</p> <p>◇キャリア教育の視点に基づいた児童主体の学級活動</p> <p>◇特別支援教育における特別活動/坂井聡(香川大学教授)</p> <p>【連載】◇個別最適な学びはどのように実現させるか？-LEARNプログラムの試み-中邑賢龍(東京大学先端科学技術研究センター)</p>

<p>特別支援教育 (東洋館出版社)</p> <p>夏号</p>	<p>【特集】生涯にわたって学び続ける意欲を高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇視覚障害者のスポーツ活動を通じた生涯にわたって学び続ける意欲を高める取組 ◇地域と連携して社会で活躍できる幼児児童生徒を育成する取組 ◇生涯にわたって学び続ける意欲を高める知的障害教育における取組 ◇選んだ題材を、表現したいことが伝わるまで表現する「書」の取組 <p>【連載】◇ICTを活用した読み書き困難への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇子供をささえるネットワーク 誰もが参加できるeスポーツの出発点に ◇岡山県の病児療養児への対応 ◇特別支援教育の理解啓発のためのリーフレットをぜひご活用ください
<p>学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)</p> <p>7月号</p>	<p>【特集1】今こそ、学校図書館の重要性をII</p> <p>【特集2】「不読率の低減」に向けて</p> <p>【連載】◇(新連載)心に届く読み聞かせ 読み聞かせとの出会い</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇沖縄県高校生読書リーダー育成研修 ◇戦後の読書指導史 昭和30年代へ向かう「もはや戦後ではない」
<p>高校教育 (学事出版)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】専門高校、アップデート</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇専門高校の課題と今後の方策 ◇工業高校に未来はあるか ◇新たな商業教育へ 広島商業高校の取組から ◇新たな農業教育へ 五所川原農林高校の取組から <p>【巻頭インタビュー】「外国人との共生」を高校教育でどう扱うべきか</p> <p>【連載】◇2040年、教育の旅 2040年の通信制高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇シン・高校教育法 定期テストはいらない!? ◇学校をおもしろくする思考法 ジブリ映画の売り方① ◇高校の魅力のつくりかた やりたいことをやる、シンプルな楽しさ ◇京都フレックス学園構想に基づいた学校づくり 京都府立清新高校 ◇教育と法 学校の出願ミスと生徒の利益
<p>道徳と特別活動 (文溪堂)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集1】本当に効果的な「意見の共有」の在り方を考える —「協働的な学び」を実現する指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学習指導を質的に高める意見の共有 ◇中心発問における効果的な「意見の共有」とはどのようなものか ◇「協働的な学び」の実現に生かす ICT <p>【特集2】子供たちの多様な他者と協働する力を育てる特別活動 —全特活研・全小行研全国大会に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇多様な人々と協働し、未来に向けた新たな価値を生み出していく力を育む特別活動 ◇キャリア教育、課題解決のための特別活動
<p>学校事務 (学事出版)</p> <p>8月号</p>	<p>【特集】給食費・教材費無償化の時代</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇給食費・教材費無償化自治体の現在 ◇学校給食の意義と無償化の課題 ◇教材費無償化の意義とその方法 <p>【巻頭インタビュー】子どもの体験格差 広げないために社会全体で議論を</p> <p>【特集企画】創りたいものを思いのままに 生徒の可能性に応える ICT 環境整備 茨城県立 IT 未来高等学校</p>

		<p>【連載】◇旧購買室をフリースペース「かたるしつ」に</p> <p>◇語ろう！学校財務 財務担当者でない事務職員の実践</p> <p>◇やっぱり気になる「事務室の人間関係」</p> <p>◇漸進的学年会計業務の改善を通じた教員の業務負担軽減</p> <p>◇教職員給与等に関する国の財政措置（国庫負担など）の変遷</p> <p>◇仁義なき区長会長選挙 バトル・ロワイヤル（前編）</p>
指導と評価 (日本教育評価研 究会)	8月号	<p>【巻頭言】「ヤングケアラー」という切り口から学ぶ</p> <p>【特集1】学習者用デジタル教科書</p> <p>◇学習者用デジタル教科書の導入・効果</p> <p>◇学習者用デジタル教科書で授業を変える、授業が変わる 中学校英語</p> <p>◇小学校国語におけるデジタル教科書の活用</p> <p>◇特別支援学校におけるデジタル教科書の活用 ディスクリアを中心に</p> <p>【特集2】ヤングケアラー</p> <p>◇改正子ども・若者育成支援推進法とヤングケアラー</p> <p>◇現状から支援のあり方を考えるー臨床心理学の立場から</p> <p>◇実態調査の結果と学校現場における対応ー管理職の立場から</p> <p>◇学校での環境整備と早期発見のポイント</p> <p>◇当事者として伝えたいこと</p>
教育ジャーナル (Gakken)	25号	<p>【特集1】「変革者」たれ「現状維持」という選択肢はないこの時代に 未来創造型教育カリキュラムを 福島県立ふたば未来学園</p> <p>【特集2】Z世代（初任校）を育てる 「今どきの若者はたいしたもの です」そんな目で若い教師を育てたい Walk don't run! 急がば回れ</p>